

## 平成30年度 専門部研究部活動計画

研究部では、研究部テーマのもと、「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」の四つの部会に分かれて、部会テーマを設けて研究を進めます。

各部会では、楽しく豊かな音楽活動を通して、一人ひとりの子どもが音楽の基礎・基本を確実に身に付けていくことができるよう、授業のねらいや流れ、手だてについて探ると共に、より質の高い指導法を目指して研究を深めていきます。

また、学習指導要領及び、横浜版学習指導要領の主旨をふまえ、研究内容と方法を充実させて、仮説の共通理解を確実に図りながら研究の深まりを求めていくことを重視していきます。

### 音楽科目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

### 研究部 研究主題

子どもの意識の流れを生かし、音楽能力の高まりを目指した授業の在り方

### 育てたい資質、能力（音楽科における基礎・基本）

- ・生涯を通して音楽を愛好し、生活の中に音楽を生かしたり音楽文化に親しんだりする態度
- ・音楽に対する興味、関心を持ち、音楽活動を積極的に進めようとする意欲や態度
- ・音楽の様々な特性（リズム感、旋律感、和声感、強弱感、速度感、音色感）を感受する力
- ・感じたことや心に描いたことを自らの声や楽器あるいは自らつくった音楽を通して表現する力
- ・音楽のよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、想像力を働かせて聴くことができる力
- ・声の出し方や楽器の演奏の仕方に興味を深めながら、思いや意図をもって歌を歌ったり、楽器を演奏したりする力
- ・工夫して音楽をつくる経験を通して得られる能力や知識
- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらのかかわりによって醸し出される曲想を感じ取り、音楽を全体的に味わう能力

研究主題	子どもの意識の流れを生かし、音楽能力の高まりを目指した授業の在り方			
部会	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
部会テーマ	子どもが歌う喜びを感じながら、主体的に表現の高まりを目指していく歌唱活動	子どもが楽曲の特徴や面白さに気付き、その楽曲への思いを大切にして、豊かな表現を目指す器楽活動	一人ひとりが発想を生かし、思いや意図をもって音楽をつくる活動	音楽のよさや面白さ、美しさを自ら感じ取り、聴き味わう鑑賞活動

### 研究の内容と方法

- 基礎研究      ○理論研究      ○授業研究  
・実践事例や検証授業を通して      ・指導法の研究を通して

### まとめと課題

# 平成30年度 研究部 年間活動内容

	5月9日	6月6日	7月4日	8月	9月5日	10月3日
歌 唱	オリエンテーション ○研究テーマ ○年間活動計画 内容と方向性 授業者・提案者決定	○模擬授業を伴った 実践提案① 原山史子先生 (三ツ境小) ○基礎研究② 木曾 幸先生 (新吉田小)	○子どもの考えを引き出す歌唱指導研修 共同研究者 宮崎 里子先生 ○研究授業の構想		○模擬授業を伴った 実践提案② 下田 昌子先生 (荏田西小) ○基礎研究③ 林 美絵子先生 (能見台南小)	○研究授業構想に沿った実践提案研究 ③千葉 瑞子先生 (下永谷小) ④新谷 亜希子先生 (子安小) ○研究授業の指導案検討 波切 良太先生 (川島小)
器 楽		○研修 楽曲分析 ～12月の研究授業に向けて～ 「楽曲の特徴や面白さに子どもたちが気づき、それを思いや意図につなげるための楽曲提示の仕方や学びの場の工夫について」 共同研究者 伊藤裕子先生	○研修 ～12月の研究授業に向けて～ 「楽曲の特徴や面白さと知識や技能を学習の中で結びつけていくための支援のあり方について」 共同研究者 澁田美穂先生		○基礎研究 打楽器の基本的な奏法について ○実践提案① 吉田 百合子先生 (八景小) ○12月の指導案構想 山本 樹子先生 (馬場小)	○実践提案② 梅田 佳美先生 (笹野台小) ○12月の指導案構想 山本 樹子先生 (馬場小)
音 楽 づ く り		○基礎研究① 菊地 美保先生 (本町小)	○講演 「音楽づくりの系統性について」 講師 今村 行道先生 ○12月の指導案構想		○基礎研究② 菊地 美保先生 (本町小) ○実践提案① 野口 利子先生 (矢向小) ○12月の指導案構想	○研究授業構想に沿った実践提案研究 ②高野 浩子先生 (瀬谷第二小) ③平石 真希子先生 (大門小) ○12月の指導案構想
鑑 賞		○基礎研究① 山田 万里先生 (大岡小)	○基礎研究② 基礎研究①を受けての研修 共同研究者 館 雅之先生 ○研究授業に向けて		自主 研究 会	○実践提案① 塚本 靖則先生 (岡津小) ○12月の指導案構想

